

# Memorial Symposium for Professor Nobuhiro Shiba, Director of the Josai Institute for Central European Studies

## 柴 宜弘 先生 追悼シンポジウム ～思い出と研究を語る～

柴さんとの付き合いは、彼が東大駒場の中で語学から人文学の部門へ移動してきた頃から始まった。(省略)  
翌年に、スロヴェニアの歴史家たちと始めた歴史教科書の比較研究に誘ってくれた。東欧の歴史家たちを招いて駒場で開いたシンポジウムに参加して、彼らの作った共通歴史教材に関わる苦心談を聞いたのが最初で、次にはスロヴェニアのリュブリャナ訪問団に加わって、ヴォドピヴェッツ先生を初めとするスロヴェニアの学者たちと我々双方の間で、国境を越えた歴史対話の経験を交換発表したのである。(中欧研究所 e-ジャーナル『中欧研究』第 6 号 三谷博氏追悼文より)

去る 2021 年 5 月 28 日に永眠した柴 宜弘先生は、城西国際大学において中欧研究所所長として「中欧研究」を確立しました。

ユーゴスラヴィアという国に魅かれ、その変遷を考え続けた歲月、共に道を切り拓いてこられた研究者が、その思い出を織りまぜながらこれまでの研究の軌跡を語ります。



### 追悼シンポジウム パネル1

日時：2021 年 11 月 27日(土) 15 時～17 時

場所：学校法人城西大学 東京紀尾井町キャンパス 3 号棟5階 国際会議場

(東京メトロ 有楽町線 麴町駅 1 番出口より徒歩 5 分／半蔵門線 半蔵門駅 1 番出口より徒歩 3 分)

会場へのアクセス <https://www.josai.jp/access/>

形式：新型コロナ感染予防対策により会場参加の人数は限られますが、オンライン参加も可能です。

参加申し込み：11 月 25 日(木)までに下記フォームよりお申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/1nxMALYrKo9KtWR7fyhb3J8EKApKLWs7spBqmFKelUSc/edit>

### 発表プログラム：

(五十音順)

○中欧研究所と柴先生からの宿題

飯尾 唯紀 (東海大学准教授)

○バルカン諸国歴史教科書の比較研究と柴 宜弘先生

石田 信一 (跡見学園女子大学教授)

○「中央ヨーロッパ」再考

大津留 厚 (神戸大学名誉教授)

○故柴 宜弘さんの個人的な思い出

長與 進 (早稲田大学名誉教授)

○柴さんと歩んだ東欧史研究－ふたつの「20 世紀国家」の建国から解体まで

林 忠行 (京都女子大学教授)

○柴さんと共に歩んだ地域研究の東西

アンドレイ・ベケシュ (リュブリャナ大学名誉教授)

コメンテーター：三谷 博 (東京大学名誉教授)

## JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

### 主催：城西国際大学中欧研究所

東京都千代田区平河町 2-3-11 学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス 4 号棟 5 階

問い合わせ先：tel 03-3582-1582 e-mail [jices@jiu.ac.jp](mailto:jices@jiu.ac.jp)